

地域おこし協力隊（アートプロジェクト・コーディネーター）募集要項

令和7年5月
福井県交流文化部文化・スポーツ局文化課

福井県では、令和6年4月に「福井県文化振興プラン」を策定し、「みんなで創る 文化でつながる 人と地域が輝く福井」を基本理念として、県民が自ら創造・発信する主体的な活動を応援することにより、文化芸術が暮らしの中にも浸透し、県民のウェルビーイングと地域の活力が相乗的に高まる好循環を創出する社会を目指しています。

そこで、地域おこし協力隊「アートプロジェクト・コーディネーター」を募集して、文化団体の活動に対する伴走支援を行うことで、文化芸術を活かした賑わい創出や誰もが文化芸術と触れ合い、心豊かに暮らす福井を実現したいと考えています。

【背景】

福井県は、「全47都道府県幸福度ランキング 2024 版」（一般財団法人日本総合研究所）において、6回連続で総合1位となるなど住民の幸福度が高い県であります。分野別指標で「文化分野」は、37位にとどまっています。

このようなことから、県では令和4年度より、地域の魅力発信や地域の課題解決に寄与することを目的に文化芸術を活用して地域活性化事業を行う団体を支援する「アートプロジェクト支援事業」を実施し、令和6年度は33団体に助成金を支給しました。

本事業は地域活性化や地域課題の解決に寄与する一方、文化団体のモノの見方・考え方の固定化・マンネリ化、専門的スキルやノウハウを持った人材がいないことによる活動の停滞化・裾野が広がらないといった課題も見えてきました。

そこで、これらの課題を解決し、本県の文化芸術のさらなる発展を進めていくため、文化芸術団体の日頃の活動に寄り添い、活動で生じる課題の解決策を共に考え、伴走支援を行う地域おこし協力隊（アートプロジェクト・コーディネーター）を募集します。

1 活動内容

公益財団法人福井県文化振興事業団（以下「事業団」という。）が実施するアートプロジェクト支援事業について、事業団職員や地域おこし協力隊と連携して、以下の（1）～（5）の業務を実施する。

（1）県内の文化芸術団体に出向いて、日頃の活動で生じる課題の解決に向けた伴走支援

[具体的な支援活動例]

①情報発信・広報活動支援

・団体・個人が行うHP・SNS等を活用した情報発信の支援

②財政支援

・助成金等に係る申請書類の作成指導・助言
・助成金制度等に関する情報収集、情報提供

③組織・団体運営支援

・団体の事業運営力向上に向けた助言 等

（2）アートプロジェクト支援事業助成金に関する業務

・助成金採択団体等のコーディネート業務

[具体的な伴走支援例]

- ①団体が実施するアートプロジェクトに対する指導・助言、その他団体との関係構築や連携促進等のコーディネート業務
 - ②事業団のHPやSNS等を活用したアートプロジェクト事業の広報支援
 - ③アートプロジェクト支援事業助成金の申請、実績報告書に関する相談対応や内容確認
 - ④事業の視察や団体が開催する総会等への出席・助言
 - ⑤団体同士が連携した新たなアートプロジェクトの企画に向けたコーディネート
- (3) 文化芸術関係者向けの研修会・交流会に関する業務
- ・文化芸術団体や企業、行政関係者などを対象とした研修会やキックオフミーティング、成果報告会、交流会の企画・運営
- (4) 既存相談窓口との連携
- ・事業団では、文化芸術団体を対象とした専門の相談窓口を設置し、各分野の外部専門家から構成する「芸術文化アドバイザー」とともに、相談対応を行っています。
 - ・ご自身では解決が難しい専門的相談を各芸術文化アドバイザーへつなぐ役割
- (5) 事業団主催事業の共同運営（事業団の主催公演を除く）

【主な業務について】

上記業務のうち、主な業務は文化芸術団体の伴走支援と団体同士が連携した新たなアートプロジェクトの企画に向けたコーディネートとなります。

○伴走支援

助成金採択団体が実施するアートプロジェクトについて、担当者を決めて活動への助言や関係団体との連携促進などの伴走支援を行っていただきます。

○コーディネート

令和7年度アートプロジェクト支援事業助成金では、複数の文化芸術団体が連携して実施する事業を支援する「チャレンジ枠」を創設しました。団体同士が連携した新たなアートプロジェクトのコーディネートを行っていただきます。

【参考1】アートプロジェクト・コーディネーターの暮らしモデル

事業団オフィスを拠点に県内で文化芸術団体の活動拠点等に赴くことを基本とするため、事業団に通勤しやすい範囲で住居を探すのがよいかもしれません。事業団のオフィスがある福井県立音楽堂は福井市郊外に位置し、周辺は田園が広がる緑豊かな地域です。また、周辺にはマンションやアパートも比較的多く、希望する賃貸物件が借りやすいエリアでもあり、日常生活に不便を感じることは少ないと思います。

採用から移住に当たっては、担当課の私たちや県UIターンセンターの専門相談員も親身になってお手伝いをさせていただきますので、ご安心ください。

【参考2】組織体制について

令和7年度からアーツカウンシル機能を持つ「ふくい文化創造センター」を事業団に設置しました。センターは、専門スタッフを配置し、文化団体に対する相談機能を強化することで、誰もが文化芸術を楽しめる環境づくりの推進を目的としています。

アートプロジェクト・コーディネーターの業務は、センターのディレクター、事業団職員や地域おこし協力隊と協力して一緒に行いますので、ご安心ください。勤務場所は同じ事業団オフィスとなります。（別添組織図参照）

【参考3】現在の地域おこし協力隊について

令和5年度に地域おこし協力隊（アートプロジェクト・サポーター）を1名、令和6年度に地域おこし協力隊（アートプロジェクト・コーディネーター）を1名委嘱し、現在2名の地域おこし協力隊と協力して、県内文化団体の活動をサポートしています。

アートプロジェクト・サポーターが文化団体への助言、情報提供などのサポートや文化団体対象の研修会などの業務を行う一方、アートプロジェクト・コーディネーターには、文化団体が実施するアートプロジェクトに対する助言や関係団体との連携促進、文化団体同士が連携した新たなアートプロジェクトの企画などのコーディネート業務を予定しています。

2 活動イメージ

○1年目

- ・県内で文化芸術活動に取り組む団体等について知るため、「アートプロジェクト支援事業助成金」の支援団体を中心に訪問し、顔の見える関係を作っていきます。
- ・団体訪問の中で聞き取った、活動の現況、活動を活発化していくうえでの要望や課題（他団体との連携希望、他事例の紹介希望、活動資金や専門的人材の不足等による活動の停滞等の課題）をストックし、関係者と共有するとともに、SNSなどで発信していきます。
- ・引き続き、各団体へ寄り添い（団体が行う総会や各種打合せ・イベント等への参加）、アートプロジェクト・コーディネーターとしての知見（団体訪問により知り得た情報を含む）等に基づき伴走支援を行います。
- ・ご自身では解決が難しい専門的課題に関しては、事業団が委嘱している各分野の専門家から構成する「芸術文化アドバイザー」へ橋渡しを行います。
- ・上記の活動の傍ら、サポート能力を強化し、専門的知識を身につけていただくため、予算の範囲内で、例えば「ファンドレイザー養成講座」や「アートコミュニケーター養成講座」などの研修を受けていただくことを想定しています。

○2～3年目

- ・団体のアートプロジェクト事業について、事業計画段階で指導・助言を行います。
- ・団体のアートプロジェクト事業の効果的な推進を図るため、事業に対する指導・助言、他の団体との関係構築や連携促進などの伴走支援を行います。
- ・団体同士のマッチングを実施した案件や、重要な助言を行った案件については、具体化するまでのサポートや、取組みのフォローアップを行います。
- ・特に、他の団体でも応用が効くような地域課題の解決につながるモデル事例が実現した場合は、他団体の参考となるよう積極的な情報発信を行っていただくことを期待します。

○活動終了後

- ・連携によって生まれた新しい事業のアイデアをご自身の手で実現したいと思われれば、ソーシャルビジネスを起業するという道が考えられます。
- ・また、ご縁の深まった団体等に専門人材として就職するという道も考えられます。
- ・なお、就職や起業については、県や事業団もバックアップさせていただきます。

3 活動地域

事業団（福井県立音楽堂内）オフィスおよび県内の文化芸術団体の活動拠点等

4 募集人数

1名

5 募集要件

次の要件をすべて満たす方とします。

- (1) 次の①、②のいずれかに該当する方で、採用後、生活拠点を福井県内に移し、住民票を異動できる方
 - ① 応募時点で、3大都市圏をはじめとする都市地域に在住している方
 - ② 「地域おこし協力隊」として活動していた方で、「同一地域における活動2年以上、かつ解職1年以内」の方※要件に該当するか不明な場合は、個別にお問い合わせください。
- (2) 次の①、②のいずれかに該当する方
 - ① 文化芸術団体の活動への助言や他の団体の連携促進などのコーディネート業務を行うため、文化芸術分野に限らずコーディネート業務の経験がある方
 - ② 大学等でアートマネジメント等に関する専攻経験のある方で、文化芸術活動の企画・運営などに携わった経験がある方
- (3) 令和7年4月1日時点で満18歳以上の方
- (4) パソコンの基本的な操作（ワード、エクセル、パワーポイント等による資料作成）やHP・SNS等による情報発信ができる方
- (5) 普通自動車免許を有する方（AT車限定可）
- (6) 地方公務員法第16条に規定する欠格条項に該当しない方

6 求める人物像

以下の項目に沿う方をアートプロジェクト・コーディネーターとして募集します。応募の際は以下の項目にご留意の上、「地域おこし協力隊（アートプロジェクト・コーディネーター）応募用紙」をご記入ください。なお、以下の項目すべてを満たす必要はありません。

- (1) 文化芸術活動を核として、他分野（教育、国際交流、産業、観光等）との連携により、地域課題の解決や地域活性化の取組みに関心があり、将来に向けて幅広い経験を積みたい方
- (2) 文化芸術団体や関係者と円滑なコミュニケーションが取れ、地域文化振興に尽力できる方
- (3) 芸術祭など文化芸術に関する事業の企画立案や運営に関心があり、中心となって取り組む意欲のある方

【参考】福井県地域おこし協力隊に共通して求められる人物像

○向いている人 ・ 自立自走でき、かつチームプレイも取り組める方 ・ 人の話を聞き、円滑にコミュニケーションを取れる方 ・ 好奇心を持ち、楽しみながら前向きに仕事ができる方	○向いていない人 ・ 主体性なく何ごとにも悩みやすい方 ・ つい不平不満や悪口、愚痴を口にしてしまう方 ・ 本当の自分を出せず、意見をいえない方
---	---

7 身分および委嘱期間

(1) 身分

福井県知事が地域おこし協力隊員として委嘱し、事業団と業務委託契約を締結します。
(いずれの組織とも雇用関係はありません。)

【参考③】公益財団法人福井県文化振興事業団とは

昭和 57 年に県民の文化愛好の機運を盛り上げ個性豊かで創造性に富んだ福井の文化づくりの振興を目的として設立され、以来、優れた文化芸術の提供や特色ある地域文化の発掘、県内文化の発信など様々な事業に取り組み、令和 4 年に設立 40 周年を迎えました。

事業の中心となるのは平成 9 年から始まった福井県立音楽堂「ハーモニーホールふくい」の管理運営であり、地域の音楽団体や愛好家の発表の場として有効に利用いただいているほか、国内外の優れたオーケストラや一流アーティストによる多彩な公演を実施しています。近年は、アート振興にも力を入れており、アートによる賑わい創造を目指して、芸術文化アドバイザーの設置や県民主体のアートプロジェクトに対する支援も行っています。詳細は事業団 HP をご覧ください。URL : <https://www.fukui-culture.or.jp/>

(2) 委嘱期間

委嘱日から令和 8 年 3 月 31 日まで

※委嘱日については、令和 7 年 7 月を目途に、内定者と協議の上決定します。

※所定の審査を経て、最初の委嘱日から通算して 3 年まで延長することができます。

※隊員としてふさわしくないと判断した場合は、委嘱期間中であっても業務委託契約を解除できることとします。

8 待遇等

(1) 活動日数

年間の活動日数は 192 日（目安として月 16 日を 12 か月）を上限とし、初年度は採用日から年度末までの日数に応じて減額します。

(2) 活動時間

1 日の活動時間は概ね 8 時間を基本とします。ただし、活動内容等により時間等を調整できるものとします。

(3) 報酬・活動経費

報酬	月 333,300 円（月 16 日活動の場合） ※毎月の活動状況を確認の上支給します。
活動経費	活動に必要な経費等は予算の範囲内で事業団から支給します。 【(例) 活動経費として対象となるもの】 ・任期中の住居に係る家賃補助（上限あり） ・事業に係る自動車の燃料費、ETC 使用料、リース費（上限あり） ・事業に係る県外出張旅費 ・事業に係る書籍、消耗品等に要する経費 ・研修等に要する経費 【(例) 活動経費として対象とならないもの】 ・事業収入を伴う経費 ・土地、建物の購入費 ・高額な物品（備品）購入費 ・個人の資産となる経費

(4) 副業・兼業

業務に支障がない範囲で可能です。

(5) その他

①事業団オフィスでの執務時には、ノートパソコンを貸与します。

- ②国民健康保険、国民年金、障害・損害保険等にはご自身でご加入ください。
- ③業務活動以外の経費（引越しや生活用品、住居の光熱水費等）は自己負担になります。

9 応募方法

(1) 受付期間

令和7年5月16日（金）～令和7年6月30日（月）まで必着

(2) 提出書類

次の①～③の書類を郵送または以下の URL にアクセスし、福井県電子申請サービス（インターネット）によりご提出ください。

電子申請サービス：<https://shinsei.e-fukui.lg.jp/Pk8sE41P>

①アートプロジェクト・コーディネーター応募用紙（別紙様式）

②住民票（令和7年4月1日以降に発行したもの）

③自動車運転免許証の写し

(3) 郵送の場合の提出先

〒910-8580 福井県福井市大手3丁目17-1

福井県交流文化部文化・スポーツ局文化課 文化振興グループ

※応募に当たって、募集期間中に募集内容の確認等に関する面談を実施することも可能です。電話・オンラインにて対応いたしますので、「11 お問い合わせ先」の連絡先までお問い合わせください。

10 選考方法

(1) 第1次選考（書類審査）

- ・提出書類をもとに書類審査を行います。
- ・選考結果については、令和7年7月10日（木）までに応募者全員へメールで通知します。合格者には、あわせて第2次選考の日程等詳細をお知らせします。

(2) 第2次選考（面接審査）

- ・第1次選考合格者を対象に、面接を行います（対面またはオンライン）。
 - ・選考結果については、令和7年7月24日（木）までに第2次選考参加者全員にメールで通知します。
- ※応募に係る経費（郵送費、交通費等）は応募者の自己負担となります。
※選考の経過や結果についての問い合わせには応じられません。

11 お問い合わせ先

(1) アートプロジェクト・コーディネーターについて

福井県交流文化部文化・スポーツ局文化課 文化振興グループ

〒910-8580 福井県福井市大手3丁目17-1

TEL：0776-20-0582 E-mail：bunka@pref.fukui.lg.jp

(2) 福井県地域おこし協力隊全般について

福井県未来創造部 定住促進課

地域おこし協力隊担当（兵田）

〒910-8085 福井県福井市大手3丁目17-1

TEL：0776-20-0665 E-mail：teiju@pref.fukui.lg.jp

※応募にあたって、事前に募集内容の確認等を行いたい場合は、お気軽に上記までお問合せください。電話、メール、オンライン面談等でご対応いたします。